

[宮崎県社会福祉士会通信]

みなみ風

< 発行 > 宮崎県社会福祉士会
会長 松井 利博
< 事務局 > 宮崎県社会福祉協議会
事務局長 吉田 雅憲
2007(平成19)11.22 発行 / №39

開催迫る!!

2007年度全国統一研修

十二月二日・三日

全国統一研修は、日本社会福祉士会生涯研修制度の共通研修課程における基幹的な研修

として位置付けられた研修です。毎年、全国8会場で均質の統一的な研修が開催されており、今年是我が宮崎県が当番、開催県として参加者をお迎えすることとなり現在、準備に余念がありません。

研修のプログラムは社会福祉士の共通基盤として設定してある6領域を柱としており、今年は共通講座『福祉権利』、シンポジウム『地域支援』、選択講座『生活構造』、『対人援助』、『福祉経営』のカリキュラムが予定されています。(詳しくは、宮崎会場版開催要項もしくは本会ホームページ

<http://www.miyazaki-csw.org/>
を参照ください)

開催県としての準備状況は、昨年度の研修に下見を兼ねて参加したところまで遡ります。が、実質的には八月に打合せを行い、ようやく九月に実行委員会組織を立ち上げたところであります。現在まで、数回の話し合いをもち、役割分担や会員への参加の呼びかけ、シンポジウムのシナリオ作りなど、各委員の責任分担のもと準備作業に追われているところです。そんな折、会員や、すでに申込みをされた方から「何でも手伝いますよ! 遠慮なく言ってね」という連絡をいただくと、本当にありがたく、心強く、救われた気持ち

になります。会員のみなさん、ありがとうございます。

さて、これから参加を思い立った方、すでに申込期限を過ぎています、全く入る余地がない訳ではございません。ギリギリの調整になるかとは思いますが、とりあえず担当の大田勝信まで一報ください。初日は交流会もあります。宮崎県の会員あげて、参加者を歓迎したいと思います。夜の部のご協力も引き続き受け付けています。ひよっとすると、サプライズゲスト(今、最も宮崎県で注目されている方と言えば・・・交渉鋭意努力中)があるかもしれない。充実した研修、楽しい交流ができますよう、会員各位、ご協力をよろしくお願いいたします。

【文責:実行委員長 大田勝信】

ブロック活動

県北ブロック

【活動近況】

県北ブロックでは10月20日（土）・21日（日）の2日間、九州保健福祉大学通信教育部の依頼を受け、国家試験対策講座を開催しました。

12名の講師は、ブロック会員にお願ひしましたが、後日、大学から送られてきたアンケートでは大好評で、来年度の開催についても依頼されました。

10月27日（土）には九州保健福祉大学で、ぱあとなあ宮崎の黒木幹雄氏をお招きし、成年後見制度活用講座を開催しました。

会員をはじめ、各分野の現場職員や学生など計79名の参加がありました。黒木氏には成年後見制度を、



九州保健福祉大学で黒木氏の熱心な話を聞き入る参加者

具体的な実践事例を交え、分かりやすく講義いただきました。このように、大学とコラボレーションする機会も多く、会員や大学との懇談会の声も挙がっていますので、今後さらに連携を深めながら年度中にも、研修会を開催したいと思えます。

県央ブロック

【活動近況】

県央ブロックでは10月26日（金）介護付有料老人ホーム（金）介護付有料老人ホームアレビオさくらにて研修会を開催しました。

第1部では『地域支援と自立支援法』精神障害者を取巻く状況から』という題で、地域支援センターすみよしの荒川英之氏に講演をいただき、第2部では会員によるリレートークが行われました。

第1部の講演後の意見交換では予定時間を延長するほど白熱し、リレートークでは様々なエピソードが紹介されるなど、充実した内容となりました。今回参加できなかった方も次回回は是非、ご参加下さい！

県南ブロック

【活動近況】

県南ブロックでは10月20日（土）13時30分から17時まで、都城市総合社会福祉センターにおいて、第4回目の研修会を実施しました。

内容は、まず実践報告として、福祉士会会員で地域包括支援センターに勤務している4名から「地域包括支援センター現場職員による緊急レポート」と題して包括支援センターの現状を報告していただき、その後、伝達研修として、評価シートを使った包括支援センターの今後のあり方を検討しました。

参加者からは質問や意見も多くだされ、「大変参考になりました」との声も聞かれました。12月15日（土）に予定しています5回目研修会では、まず20年度のブロック活動について協議いただき、その後、「HPの有効活用と自己啓発」と「会員プロフィールの作成」会員同士もつと知り合おう」という研修を企画しています。多くの参加お待ちしています。

委員会活動

権利擁護委員会

10月13日（土）に権利擁護委員会を、下記の内容で開催しました。

1、理事会報告

- ・ホームページの活用について
- ・全国統一研修についてなど

2、権利擁護セミナーについて

今年度のセミナー開催について話し合いをしました。難病指定を受けていない病気を患う当事者や家族団体の啓発を行ってはその意見など出ています。継続検討となりました。

3、メンバーからの活動報告

（委員会内研修）

長嶋さんから、日常生活自立支援事業の支援員としての活動報告がありました。

☆ケアマネジメント委員会

【活動近況】

今年度からの取り組みであります「ケアマネ全国統一模擬試験」は10月14日（日）に実施し、24名の方が挑戦されました。挑戦されたほとんどのの方が介護福祉士ということで、介護福祉士会に感謝申し上げます。また、この模擬試験を受験された方々が、全員合格されることを切に祈ります。

なお、この統一模擬試験の問題は、残部がありますので、勉強される方には、有料で配布できると思います。是非、周知方をよろしくお願いいたします。



☆研修委員会

【活動近況】

8月18日（土）、宮崎市発達支援センターにおいて「基礎研修及びケアマネジメント研修会」を開催し、基礎研修には20名、ケアマネジメント研修には42名の参加がありました。

基礎研修の内容は、①社会福祉士の組織と活動について、②生涯研修制度について、③社会福祉士の倫理綱領についてという3本の柱について研修がおこなわれました。

終了後、研修や会の運営等についてアンケートを書いていただきました。良かったという意見、また、改善すべき点など、たくさんのご意見をいただきました。今後の会の運営に生かしていきたいと思っています。アンケート結果のうち、改善すべき点について会としての対応は、ホームページで報告させていただきます。

☆国家試験対策委員会

【活動近況】

9月9日（日）から、「宮崎市総合福祉センター（宮崎市花山手）」において社会福祉士国家試験受験対策講座がスタートしました。

5週に渡り、毎週日曜日に開催してまいりました。国家試験に向けての「全国統一模擬試験」は、10月28日（日）に実施しました。



☆広報委員会

【活動近況】

9月15日（土）10時から宮崎県福祉総合センターで第2回広報委員会を開催しました。

内容は、「みなみ風」39号について、発行日の確認、レイアウトの確認、企画案の取材と原稿作成（役割分担）、編集と印刷依頼の確認でした。

また、県士会ホームページについて、一般ページと会員専用ページの管理規定の確認をしました。

11月11日（日）10時から、特別養護老人ホーム三愛園の会議室にて「みなみ風」39号発行にむけての編集会議を行いました。

今後の広報紙「みなみ風」の編集内容や編集方法、機関誌やリーフレット作成、会員用ページの活用方法について協議しました。



今回はすごい！

☆地域包括推進委員会

【活動近況】

9月15日（土）、宮崎市社会福祉協議会において、地域包括推進委員会を開催しました。

内容は、地域包括支援センター実態把握調査について、日程や目的を確認し、「地域包括支援センターのスキルアップ研修会」について、日時や場所、内容といった開催要項や予算などを協議しました。

地域包括支援センターの

スキルアップ研修会

●日時

平成19年11月23日（祝）

11月24日（土）

受付 9時30分～

●場所

宮崎県精神保健福祉センター

5階大研修会室

（宮崎市霧島1-1-2）

※詳細についてはHPをご覧ください。

☆ばあとなあ宮崎から

【活動近況】

11月15日（木）宮崎県弁護士会との合同会議で虐待専門職チームの実施綱領や協議書、内容について協議を行いました。

協議書は福岡県の様式を基に弁護士会で作成したものが示されました。実施綱領については弁護士会の増田弁護士が次回（平成20年1月11日）までに作成して協議することになりました。また、内容は、福岡県を本手にフロッピーチャートを作成（弁護士会の協議会説明用）することを確認し社会福祉士のメンバーについても26日までには弁護士会に連絡することになりました。今後、要領ができ次第、協定書を取り交わすこととなります。

弁護士会との会議は2ヶ月ごとに開催しており、その都度HPで情報を公開します。

成年後見セミナー開催

●日時

平成19年12月8日（土）

●参加費 無料

●主催

リーガルサポート宮崎県支部、リーガル・プランナー宮崎産業経営大学、宮崎県社会福祉協議会

法人化の取り組み

1、スケジュール

目標
21年4月 法人化

20年度 法人化準備委員会

20年3月 法人化決議
（定期総会）

19年度 法人化推進委員会

法人化に向けた課題整理
と対応方針検討

2、法人化推進委員会

19年度 三役と事務局を中心に
に協議↓理事会に提案

必要に応じて委員選出
（各ブロックより数名）

3、当面の課題

①会員率の向上への取り組み

- ・ 会加入のメリット
- ・ 広報活動
- ・ 草の根作戦

②事務所の設置・事務局体制の検討

③公益事業の実績づくり

（収入の1/2は公益事業であることが求められる）

- ・ 各種事業、研修会に会員以外の参加を前提
- ・ 県民に対する事業の企画（相談事業など）を各ブロックでも取り組む
- ・ 県、県社協などからの委託事業、協働事業の検討
- ・ 調査研究事業の実施、発表、施策への提案

④収入・資産の確保

- ・ 会費の問題
- ・ 補助金・助成金の確保による事業展開

⑤理事会の構成

理事の半数以上は会員以外

⑥会計処理

複式簿記会計処理

特集

福祉現場のリスクマネジメント

- その2 -

社会福祉士とリスクの発見

広報委員 星村太一

リスクの発生とマネージメントについて、私の勤務する都市社会福祉協議会を例に挙げながら考えてみます。

社会福祉協議会（以下、社協と言う）の組織は一般的に総務部門と事業部門に大別され、介護保険事業に取り組んでいる社協では事業部門がさらに、地域福祉部門と介護保険部門に分かれます。

では、都市社協ではどのようなリスクが想定されるか挙げてみます。

まず、すべての部門に共通するリスクとしては、情報漏えい等の情報系のリスクから交通事故等のリスクも考えられます。そうした中で、総務部門としては財産管理に伴うリスクとして盗難や建物の損失、施設内における事故や貸付金の回収不能などがあげられます。

次に、地域福祉部門特有のリスクとしては、サービスを行うことによるリスクや行わないことによるリスクなどが挙げ

られます。具体的には資金の貸付や情報の提供を行うことに伴うリスクや逆に、資金の貸付ができないことによるリスクも想定されます。

介護保険部門のリスクとしては、訪問した先での物品の破損から介護事故、それにくわえ通所施設のある社協においては、認知症利用者の徘徊に伴う事故もリスクとして挙げられるでしょう。

ここに列挙したりリスクについてはある程度対処できていく部分ですがこのほかに小さな事柄を挙げればきりがありませんが、大なり小なり、組織に損害を与える可能性のある「リスク」としては常に身近にあり内容も様々です。例えば、私たちが毎日使うワープロやパソコンは今や業務になくなくてはならないツールとなりまして、このように普及した背景には、文書を確認しながらきれいに作成できるという利点がひとつに挙げられると思います。これを逆の見方をすると手書きの場合、訂正が難しいというリスクがあったわけですね。こ

うしたワープロやパソコンと使うといったリスクマネージメントが今日では日常的になり、さらに便利にきれいに文書を作成できるワープロやパソコンへと進歩しています。

このように、リスクは何気ない日常業務からの「気づき」で発見できるものだと考えます。

先の例で、ただ単にきれいな文字を打つということであれば、昔ながらのタイプライターでこと足りるわけです。それが、電子的に発展し画面に表示できるよう進化したのには、「間違いを確認できたならば・・・」という「気づき」があったのではないかと推察されます。

私たち社会福祉士は、社会福祉の専門職（プロ）として日常業務の中から「気づき」、リスクが発生する前に回避、あるいは発生してしまっただけの備えを行わなければならない立場であるのではないのでしょうか。そのためにも日ごろから自己研鑽に努め、「気づき」の目を養うよう努力することも私たち社会福祉士に課せられた使命であるように思えます。



ホームページを開設!!

早くホームページづくりはなんなの？

つい先日、事務局からホームページ開設と会員専用ページの閲覧方法について文書がとどいたと思います。

しかし、今までホームページ（HP）を見たこのないかたにとっては「なんのこっちゃ？」でしょう。

そこで今回の企画です。

パソコンの電源をいれます。表示された画面上が左下にある「スタート」ボタンをクリックして「全てプログラム」の中からこのマークを探してクリックマウス左ボタンを押します。変わった画面の「アドレス」を一度クリックしてキーボードでURLを入力し、キーボードの「Enter」ボタンを押します。

以上の手順は、パソコンがインターネットを見ることが出来る環境にあると、前提です。

編集後記

今号からこの「みなみ風」の編集作業は、広報委員が持ちまわりで担当することになりました。その都度、委員のオリジナリティある紙面になつてくると思います。お楽しみに！

「みなみ風」 No.39 [宮崎県社会福祉士会通信]
 2007(平成19). 11. 22 発行
 発行 宮崎県社会福祉士会 会長 松井利博
 事務局 〒880-8515 宮崎市原町2-22
 宮崎県社会福祉協議会気付
 0985-32-9740 fax 0985-27-0877
 URL <http://www.miyazaki-csw.org/>
 E-mail : info@miyazaki-csw.org
 発行責任者 広報担当理事 黒木 幹雄
 広報委員長 井上 潤二
 会員のみなさまからの情報をお待ちしております